

令和 2 年 7 月 30 日

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部
会 長 岩 元 正 孝 様

鹿児島県 P T A 連合会
会 長 太 田 敬 介



鹿児島県連合校長協会
会 長 月 野 功



令和 3 年 3 月高等学校等卒業予定者の県内就職促進について（お願い）

平素より高等学校等卒業予定者の就職につきましてはお高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、鹿児島労働局から発表されました令和 2 年 3 月卒業生の就職状況によりますと、県内高校生の就職内定率は 99.4%と引き続き高水準で推移しており、県内就職割合は 53.5%と依然過半数止まりではあるものの、昨年を上回っております。関係各位のご尽力に心から感謝申し上げます。

最近の新規求人数の動向は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績悪化の影響で採用抑制の動きが出ているとお聞きしております。このような状況の中、来年度の新規学卒者の採用動向も不透明感がみられ、採用を中止する企業もあり、一部では、リーマンショック時の就職困難事態の再来も想定されているとの報道もあります。

また、本県は約半数の高校生が県外に就職しておりますが、県外に就職した高校生等の約 4 割に仕事内容や給与条件が合えば県内就職していた可能性もあった。しかも県内企業を「あまり知らない」「ほとんど知らない」と答えた人が 4 割もあったという調査結果もあります。

高校生は、それぞれの夢や目標の実現に向かって、知識・技能の習得に日々励んでいます。すべての高校生が正規の雇用で希望する職種に就き、培ってきた能力を存分に発揮することで、地域の活性化と郷土鹿児島の発展が図られます。

県 P T A 連合会においても、学校と連携して、高校生活の中で将来の社会生活・職業生活に必要な資質を身に付けることができるよう、望ましい職業観や勤労観の育成、基本的な生活習慣や社会性・規範意識の確立などに取り組んでいるところです。

つきましては、障がいのある生徒も含め、郷土鹿児島の未来を担う前途ある新規卒業予定者が 1 人でも多く採用されますよう、また、新たな氷河期世代を生じさせることのないように、採用枠の確保やきめ細かな情報提供、早期選考の実施、労働条件の改善などに一層取り組んでくださいますようお願い申し上げます。